

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

事業性質	事業小区分	種別
1 県・委託	1 ものづくり産業	1 ソフト
2 県・補助	2 食産業	2 ハード
3 県・負担金	3 観光産業	
4 県・上記以外	4 地場産業	
5 市町村事	5 雇用環境の整備	
	6 農林水産業	
	7 地域医療・健康づくり	
	8 子育て・福祉	
	9 防災・危機管理	
	10 環境	
	11 市町村優先の行政システム	
	12 NPO・コミュニティ	
	13 県際・圏域間での連携	
	14 国体・障害者スポーツ大会	
	15 その他圏域の課題解決	

県北広域 振興局

No.	名称		金額		事業コード			評価結果
	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	地域で育てる農業担い手支援事業	久慈地方農業農村活性化推進協議会、二戸地方農林水産振興協議会	2,425,659	1,679,679	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県北地域I・Uターン就農機会創出事業では、就農相談会の定期開催や就農ガイドを活用した相談対応等を通じ、実際に相談者の就農への方向付けができた事例も見られるとともに、農業経営発展セミナーでは、受講生の経営発展に向けた動機付けにつながっている。</li> <li>・また、県北地域元気なシニア農業チャレンジ事業によりシニア世代の営農モデルの実証が行われ、農業経営改善発展支援事業により規模拡大等の経営改善に向けた取組が促進されている。</li> <li>・今後も、関係機関・団体が連携し、地域における農業の担い手確保・育成に向けた取組を継続的に進めていく。</li> </ul>
2	県北畜産の産地づくり実践事業	農政部	512,380	512,380	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 和牛繁殖経営生産性向上対策事業(久慈、二戸) <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証農家によれば、「分娩後の母牛の健康状態の落ち込みもなく、生産子牛も丈夫で手がかからなかった」との評価であった。ただし、当該技術の利用にあたっては、母牛の栄養度や時期(維持・妊娠末期・授乳期)をみながら、増飼給与量を決定する必要があることも併せて指導する必要がある。</li> </ul> </li> <li>(2) 酪農経営生産性向上対策事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 乳質改善指導による生産性向上(久慈) <ul style="list-style-type: none"> <li>・体細胞数の削減に成功したものの、生産者が受けた指導内容を継続して取り組む必要があることから、生産者に対し、取組継続の有無について適宜確認を行う必要がある。</li> </ul> </li> <li>② 飼養管理改善活動による生産性向上(二戸) <ul style="list-style-type: none"> <li>・暑熱対策において、牛舎設備の改善を伴わない、飼料添加剤給与という方法で、暑熱ストレスを軽減する傾向となった。方法も試しやすいものであり、今後は、地元関係機関の協力を得てモデル実証内容の周知をさらに進めていく必要がある。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
3	県北地域農林水産物販売PR応援事業	地域特産物の販売促進を行う団体	1,028,244	458,500	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、イベントを通じて広く農産物を消費者にPRした。</li> <li>・イベントにとどまらないようにするには、今回作成したPRツールを利用し、様々な場面でPRすることが必要である。</li> <li>・事業実施主体からは、今後は自前で継続してイベント開催やPRを実施していく旨確認した。</li> </ul>
4	園芸労働力確保支援対策事業	農政部	194,044	194,044	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設職員を対象とした農作業見学会を開催したことにより、施設職員の農業に対する理解を深めることができた。</li> <li>・また、新たに4件のモデル事例を構築したことにより、農福連携に携わる農家・施設を増やすとともに、菌床といった作業の可能性や、障害の種類や程度の違いによる作業の可能性を探ることができ、農福連携定着の一助とすることができた。</li> <li>・一方で、農家側の福祉に対する理解不足等の課題もあるので、来年度は農家に対する周知を中心に取り組み、農福連携の定着を図りたい。</li> </ul>
5	ヒトものバス新物流モデル構築事業	農政部	340,270	340,270	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業の所期の目標としていた高速夜行バスを活用した新たな物流システムモデルは、夏期の生鮮品による輸送実証や、出荷元となる事業者(産直)と、販売先となる事業者とのマッチングにより、達成できたと考えられる。</li> <li>・次年度以降は、出荷元となる産直の支援により、構築した物流を活用した、久慈地域で生産される農林水産物の販路拡大を図りたい。</li> </ul>

6	県北地域6次産業化課題解決応援事業	久慈地方農業農村活性化推進協議会、二戸地方農林水産振興協議会	1,478,643	1,082,038	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化に取り組む生産者は、研修会等を通じて、それぞれ方向性が見えてきたため、今後は個別支援を実施していく。</li> <li>・また、今年度は6次産業化に取り組むことに躊躇していた生産者が、次年度取り組む意欲を見せているため、継続して支援をしていく。</li> <li>・産直については、今年度取り組んだ集荷システムについて、新規出荷者の可能性が見えてきたため、試験実証の期間を1週間単位から1か月に延ばし、継続調査するとともに、複数の産直との連携について検討する。</li> </ul>
7	”寒じめほうれんそう”生産・需要拡大事業	農政部	214,569	214,569	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者を対象とした機能性表示の研修会を開催することで、寒じめほうれんそうを栽培するきっかけを作ることができた。</li> <li>・また、県内スーパーでの試食販売会を通して、消費者に改めて寒じめほうれんそうのおいしさをPRすることができたほか、機能性表示の認知度等についても聞き取りすることができた。</li> <li>・料理コンテストでは、一般消費者に対する食べ方の提案につなげることができ、消費拡大の一助となると考えられる。</li> <li>・来年度は、県内スーパーでの試食販売会を継続し、引き続き一般消費者に対するPRを行うとともに、新たな単収向上技術の実証を行うことで、需要・生産の拡大を図りたい。</li> </ul>
8	カイゼン導入農業経営力向上支援事業	二戸地方農林水産振興協議会	1,183,080	756,280	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル経営体の状況としては、作業の進捗をリアルタイムで把握しながら生産に取り組む、作業の遅れ、誤りが少なくなった。また、作業の見える化により、情報を共有しながら管理者が作業指示することで、従業員の意欲、目的意識が高まった。</li> <li>・また、オペレーター不足及び若手オペレーターの習熟度向上のため、円滑なOJTが行われる体制の構築が進んだ。また、自らカイゼン活動に取り組む人材を育成するための小集団活動の実施を継続し、定着を図っている。</li> <li>・今後は、他の営農類型のモデル経営体を増やし、地域への取組波及を加速する必要がある。</li> <li>・また、「豊作計画」「現場改善活動」導入を波及させるにあたり、地域の営農類型や課題に対応した、経営課題の認識、活用方針等を意識づけする必要がある。</li> </ul>
9	雑穀機械化体系導入実証事業	農政部	238,788	238,788	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業では、雑穀栽培における慣行の作業体系に新たに機械移植技術を導入した機械化一貫体系を実証、併せて集約的な雑穀の育苗を実践した。実証では、機械化体系導入の実用性を確認することができたことから、その周知を図った。結果として、現地での機械化体系導入は進みつつあり、機械化体系による作付面積は当初の目標を上回る4.7haとなった。</li> <li>・一方、実証を通じ、畑地特有の傾斜面への対応及び適切な苗作りによる移植作業精度の向上、作業時間の短縮といった新たな技術的な課題が浮き彫りになった。次年度は、育苗及び移植の技術向上に向け、内容をブラッシュアップして事業を継続し、機械化体系の導入及び定着を図りたい。</li> </ul>
10	「林業・木材産業」新規就業促進対策事業	林務部	649,016	649,016	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規学卒者等の林業・木材産業に対する理解の促進により、平成30年4月には管内の林業、木材加工、造園業等で構成する久慈地方「木の仕事」協議会に、前年度の2倍となる10名の新規就業者が入社するなど、当事業における初期の目標は達成されたと考えられる。</li> <li>・また、久慈公共職業安定所や管内高等学校との連携により企業側向けのセミナー（H28）を開催し、求人能力の向上と受入体制の強化を図ることができた。</li> </ul>
11	元気のある木炭産地づくり促進事業	北いわて木炭産業振興協議会	845,250	688,610	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施により、「岩手木炭」のPR・情報発信ができたが、一方でパーベキュー用の量販店での需要が減少傾向にあるという課題が明らかになった。</li> <li>・次年度以降は、卸問屋・団体の意見を参考に、GI登録を生かした需要の拡大につなげるための取組を進める必要がある。</li> </ul>
12	久慈地方産原木乾しいたげ販路拡大事業	久慈地方森林組合	251,097	251,097	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産販懇談会の開催により、目的としていた生産者の生産意欲向上に寄与することができたが、今後も生産を続けてもらうためには生産者の収益向上が課題である。</li> <li>・今回の取組により、収益向上に繋がる販路拡大に向けた様々な検討を行うことができたが、検討内容を実現させて販売拡大を図るためにも、今回情報把握した内容を元に継続した活動が必要である。</li> </ul>
13	南部アカマツ販路回復対策事業	久慈地方森林組合	137,592	137,592	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部アカマツの販路回復に向けた課題抽出のための基礎調査として、多くの知見を得ることができた。</li> <li>・教育関連施設を含む公共性の高い建築物への積極的な地域木材の利用促進に向け、主に木材供給側の事業者と、発注者側である市町村担当者等関係者の意識啓発が図られるとともに、今後も情報共有と県民に向けた積極的なPRの必要性も感じられた。</li> </ul>

14	浄法寺漆資源確保対策支援事業	林務部	690,595	690,595	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度育成された漆実生苗木が出荷されることで、従来を大きく超える新たな漆植林の面積が増える見込みとなり、漆資源の増大に繋がる。</li> <li>・また、保育管理の技術を新たな担い手に普及することで、現在の漆資源の維持に繋がる。</li> <li>・次年度は継続して漆実生苗木の生産技術の普及啓発を行い、漆資源の継続的な拡大に繋げたい。</li> </ul>
15	久慈地域水産物商品力強化事業	久慈地域「海の幸」PR協議会	650,521	501,190	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売促進活動では、内陸部の消費者に久慈地域を売り込むことにより久慈地域水産物に対する消費者の認知度向上につながった。</li> <li>・サケの解体や調理実習を行った魚食普及活動では、児童及び保護者に魚食や水産物に対するの関心をもってもらえた。</li> <li>・新商品開発支援では、県内コンクールで高く評価されるなど、今後地域の名産となる可能性を持つ商品の開発に貢献できた。</li> <li>・付加価値向上に係る研修会では、トレンドに応じた内容を設定することで事業者にとって必要な情報を提供することができ、制度に適切に対応できるよう認識を深めることができた。</li> </ul>
16	漁協経営安定対策調査事業	水産部	399,968	399,968	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業による検討会を通じて、漁協役員等が漁協経営について知識を深め、今後の組織強化に向けた方向性について議論できたことは一定の成果が得られたものと考えられる。</li> <li>・今後、業界団体とも連携しながら洋野町管内漁協の組織強化と経営安定化を図っていくことで当期剰余金の増加が期待される。</li> </ul>
17	明日の浜人応援事業	水産部	39,587	39,587	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業体験の参加者が、定置網への就業を希望し、いわて水産アカデミーに入校するなど、就業へのきっかけづくりとして漁業体験は有効であるものと考えられる。</li> <li>・一般人の漁業体験については、サケ漁の盛漁期に合わせて市町村の広報誌やポスターで希望者を募集したが、応募が少なかったことから、次年度は、実施時期や募集方法を見直し、より多くの人に漁業を体験してもらえよう工夫していきたい。</li> <li>・高校生を対象とした漁業体験は、久慈東高校の卒業生10名中5名が水産関係に就職するなど成果も得られており、今後は、高校や漁協を中心に地域が一体となって取り組む体制を構築していきたい。</li> </ul>
18	さけ種苗生産人材育成事業	水産部	30,580	30,580	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の県北地区におけるサケ親魚回帰は他地区と比べて好調だったが、ふ化場別にみると河川湖上親魚が少なく単独では計画していた種卵数の確保が困難なふ化場もあった。</li> <li>・そうした中で、各ふ化場で採卵計画を達成できたこと、また稚魚生産放流計画も達成が見込まれることは、本事業で行ったサケ種苗生産に係る人材育成やふ化場間の連携強化で得られた成果と考えられる。</li> <li>・次年度は、平成28年度の台風10号災害により放流尾数が大幅減となった影響で、県北管内において親魚の回帰尾数が減少すると予想されているため、ふ化場職員向けの各種研修の継続や、海産親魚の長距離輸送に係る先進地視察などを通じて、確実な種卵確保を図りたい。</li> </ul>
19	川の魅力発信事業	水産部	448,890	448,890	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業で作成したリーフレットは、管内の河川における釣りの魅力をPRするとともに、潜在的な釣客の遊漁券購入につながる内容となっており、今後、リーフレットの配布等により河川釣客の誘客を図っていく。</li> <li>・また、河川釣客の誘客に有効なアユの放流手法の紹介や、河川遊漁振興の先進地事例の紹介等を内容とする講習会の開催により、管内河川漁協役員等が遊漁振興策の活性化について認識を深めることができた。</li> <li>・次年度以降は、今年度実施した取組の成果を確認しながら、各河川漁協の要望に応じて河川遊漁振興の支援を実施していく。</li> </ul>
20	北いわて国内誘客促進事業	経営企画部	5,049,726	5,049,726	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県北圏域への誘客拡大を図るため、三陸鉄道やみちのく潮風トレイル、三陸ジオパーク等の特色ある地域資源を活用した情報発信やイベントを実施することにより、県北圏域の認知度向上を図ることができた。</li> <li>・また、管内市町村や観光関係団体と連携して、既存の観光資源のブラッシュアップを行い、教育旅行の受入をはじめとする観光客の受入態勢整備を推進することができた。</li> <li>・2019年度は、三陸防災復興プロジェクト2019やラグビーワールドカップ2019等の大規模イベントが開催されることから、管内の観光資源の掘り起こしや磨き上げに継続して取り組むとともに、効果的な情報発信を行い、さらなる県北圏域への誘客拡大に取り組む。</li> </ul>

21	北いわて海外誘客促進事業	経営企画部	37,708	37,708	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県北地域へのインバウンド誘客に向けて、管内市町村及び観光関係団体と情報共有を行ったことにより、管内市町村や観光関係団体のインバウンド誘客に対する意識醸成を図ることができた。また、台湾旅行代理店の招請ツアーを実施したことで、インバウンドの誘客拡大に向けた県北地域の情報発信や県北地域におけるニーズ等の把握につなげることができた。</li> <li>・2019年度は三陸防災復興プロジェクト2019やラグビーワールドカップ2019釜石開催等の大規模イベントが開催されることから、引き続き、インバウンド誘客に向けて、ニーズへの対応を図りながら、既存の観光資源の磨き上げを行うとともに、県北地域の情報発信に取り組む。</li> </ul>
22	カシオペア地域資源活用推進事業	二戸地区広域商工観光推進協議会、折爪岳振興協議会	1,068,872	754,053	2 県・補助	3 観光産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験交流プログラムの新規企画・内容拡充については、引き続き、新規企画・内容拡充の支援を行い、体験プログラムの掘り起こしや磨き上げを図り、観光メニュー化につなげるよう取り組んでいく。</li> <li>・カシオペア連邦おもてなし講座については、H30年度の参加者からの評価などを踏まえ、引き続き、体験交流プログラムの各実施主体のネットワーク化や広域観光の推進につながる内容での実施を検討していく。</li> <li>・教育旅行誘致の促進については、継続的な説明会への参加や旅行代理店への訪問により、徐々に北海道内の旅行会社等における二戸地域の認知度も上昇してきており、世界遺産候補である御所野遺跡と体験交流プログラムを組み合わせたセールスを継続し、二戸地域への教育旅行誘致に向けて取り組んでいく。</li> </ul>
23	北いわて食産業振興支援事業	二戸地区広域商工観光推進協議会	1,182,388	1,182,388	4 県・上記以外	2 食産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県北圏域の食料品製造出荷額が、平成28年(2016年)では779億円と県全体の21.3%を占め、また、県北圏域の製造業全体の中で、従業者数で47.1%、製造品出荷額で61.0%となっており、地域経済と雇用を支える重要な産業であることを踏まえ、商品開発、生産性向上、販路開拓など、事業者が抱える経営課題に応じた支援を行うとともに、地元商工団体と連携し、意欲ある経営者等の育成を支援することができた。</li> <li>・次年度以降も、引き続き、事業者が抱える経営課題に応じてきめ細かな支援を行うとともに、「食べるなら県北産」と消費者から選ばれるよう、鶏肉をはじめとする食肉加工品や新鮮な魚介類を原料とする水産加工品など、県北圏域の優れた農林水産物を活用した商品の認知度向上や販路拡大を目的に、地域内外への情報発信を強化する。</li> </ul>
24	北いわてものづくり産業人材育成事業	経営企画部	2,160,040	2,160,040	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7期目となった県北ものづくり改善塾は、会場企業(SWS東日本㈱二戸工場)の生産性向上に資する提案を塾生がしたほか、塾生の主体的な参加により各企業で改善活動の定着が進むなど、県北地域のものづくり企業における社内人材育成に貢献する取組となっている。</li> <li>・管内高校への教材費の支援は、将来のものづくり人材の育成やものづくり産業への興味向上につながる取組となっている。</li> <li>・県北ものづくり産業ネットワーク設立10周年記念事業は、基調講演による先進事例等の情報提供、パネルディスカッションによる地域の10年後を見据えた意見交換、改善事例発表による事例共有等を実施。64名の参加があり、会員相互交流の好機ともなった。</li> </ul>
25	北いわてアパレル産業支援事業	経営企画部	1,184,417	1,184,417	4 県・上記以外	1 ものづくり産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏アパレル関連見本市への出展や県内高校生等からのデザイン募集による洋服制作・発表等が、北いわてのアパレル産業をアピールする場となっていることから、こうした取組を継続し、産地としてブランド化を推進していく。</li> <li>・また、経営基盤強化セミナーでは、一般社団法人北いわてアパレル産業振興会の会員企業等において、生産性向上及び収益向上へ向けて、AI・IoT等を活用したアパレル産業の取組に関する関心喚起が図られた。</li> <li>・今後、岩手県立大学の地域協働研究を活用して、産学官連携によりAI・IoT等を活用したアパレル産業の方向性に係る調査研究の取組を進めていく。</li> </ul>
26	「障がい者の自立支援」推進事業	保健福祉環境部	279,420	279,420	4 県・上記以外	8 子育て・福祉	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの講習会や講師派遣に加えて、今年度初めて作品を展示する機会を設けたが、事業所利用者には励みとなり、他事業所等の取組を知る機会にもつながった。</li> <li>・また、発達障がい者支援者等研修へも多数参加者があったことなどから、当事者だけでなく周りの支援者にも障がい者への理解が徐々に進んでいると感じた。</li> <li>・引き続き、就業面や生活面での障がい者の社会参加や地域住民の障がい(者)理解を促進し、障がい者を支える地域づくりを進める必要がある。</li> </ul>

27	環境を守り育てる人材育成事業	保健福祉環境部	193,930	193,930	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水生生物調査指導者研修会及び環境業務セミナーともに、アンケート結果が好評であり、普及啓発活動という目標は達成されたと考える。</li> <li>・一方で、環境を守り育てる人材の育成という大きな目標に対する成果は、直ぐには現れないものであると考えられることから、今後も継続して取り組むことにより環境保全意識の高揚を図りたい。</li> </ul>
28	カシオペア連邦環境を守り育てる若手人材育成事業	保健福祉環境部	412,899	412,899	1 県・委託	10 環境	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境フェスティバル及び出前授業の実施により、若い世代が地域の環境を見直したり、関心を持つきっかけとなることから今後も継続して取り組む必要があると考える。</li> <li>・特に出前授業は、事案を風化させずに教訓として後世に伝える取組にもなることから他の学校での実施についても積極的に進めていきたい。</li> </ul>
29	北いわて若者女性活躍推進事業	経営企画部	163,920	163,920	4 県・上記以外	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者・女性の地域活動の活性化を図り、「若者・女性に魅力ある地域」として広く認識されることを目指すため実施した、地域外で開催されるイベント等への若者・女性団体の派遣については、派遣団体数は少なかつたものの、その取組が新聞や地元ニュースに取り上げられるなど反響の大きいものであったことから、若者・女性団体の活動の意義の大きさを再認識したところである。</li> <li>・今後は、若者・女性に限らず広く地域の活性化に向けて活動する団体等の取組を後押しできるような事業を展開していく。</li> </ul>
30	協働のまちづくり推進事業	経営企画部	175,630	175,630	4 県・上記以外	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演を行うことにより、今後まちづくりを推進する様々な方法や全国の様々な取組を知る機会となった。</li> <li>・また、地域で活動する高校生の事例発表により、参加者と高校生が活動を知る機会となり、「協働のまちづくり」に対する意識向上及び今後の地域づくりを支える人材育成が図られたと考える。</li> </ul>
31	カシオペアまち・ひとづくり推進事業	経営企画部	3,502,119	3,502,119	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会により開催した「カシオペアサマーパーティー」については、参加者から好評を得るとともに、主催者側として参加した地域の若者の満足度も高かったことから、事業を継続し、若者の活動・交流の場を設ける取組を行う。</li> <li>・地域グルメ・若者協働事業では、学生による自主的活動の促進ができたことから、地域のPRと地域の若者人材の育成の目的は達成できたものとする。</li> <li>・カシオペア情報発信事業については、二戸地域の多様な情報を発信することで、地域資源の発掘に資することができたため、今後も放送を通して地域への情報発信を進めていく。</li> <li>・カシオペア連邦地域づくりフェスティバル事業については、管内の地域づくり活動を振り返るとともに、団体間の交流を深めることができたため、事業目的は達成できたと考える。</li> </ul>
32	「三陸ぐるっと食堂」開催事業	経営企画部	995,514	995,514	3 県・負担金	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久慈・二戸地域をはじめ、三陸各地から地域づくり団体の出展があり、イベントを通じた三陸の魅力発信と地域づくり団体同士の交流、市町村との連携を図ることができた。</li> <li>・また、「三陸防災復興プロジェクト2019」プレイベントの一貫として、復興に取り組む三陸を県内外に発信することができた。</li> <li>・次年度は、「三陸防災復興プロジェクト2019」や「ラグビーワールドカップ2019釜石開催」等のイベントが開催されることから、今年度と同様に沿岸広域振興局と連携しながら、他イベント等も活用し、本事業がより良い事業となるよう取り組みたい。</li> </ul>
33	久慈・二戸地域「古道と道路史跡とのふれあい」事業	土木部	313,720	313,720	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度は一般参加者が40名あり、前年の26名から大きく増え(対前年比154%)、古道及び道路史跡への関心の高さ及び深さを感じた。</li> <li>・前年に参加した方も多数おり、事業として定着している手応えを感じる事が出来た。事業を継続することにより、道路愛護精神の啓発を図る目的の更なる定着を図りたい。</li> </ul>
34	人と動物が共生する社会づくり推進事業	保健福祉環境部	169,568	169,568	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久慈地域は、犬の捕獲等が多く、返還率が低い地域であり、講習会参加者等の意見を踏まえつつ、犬の適正飼養の普及啓発を引き続き図っていく必要があると考えられる。</li> <li>・災害時の同行避難訓練については、今年度、久慈市における避難訓練の1項目として実施することができたので、他町村における訓練実施を支援等し、地域における対策をより推進していく必要があると考えられる。</li> <li>・動物の一時預かりボランティアについては、保健所の動物管理施設において、飼養管理が難しい幼齢の動物の譲渡の取組を継続していきたい。</li> <li>・これらの取組を継続することにより、久慈地域の動物愛護管理意識の高揚を図っていきたい。</li> </ul>

35	北いわて「つながり」創造プロジェクト	経営企画部	3,607,560	3,607,560	1 県・委託	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全戸配布広報紙については、復興情報の掲載による震災の記憶の風化防止や、「三陸防災復興プロジェクト2019」の実施状況を掲載することで、期間終了後も同プロジェクトのレガシーを後世に伝えていくことができる広報手段であるため、「紙面として形に残る」特長を生かした情報発信を今後も行っていく。</li> <li>・「やさしい日本語教室」の開催については、日本語を使った外国人とのコミュニケーションにおけるコツを学ぶ「敷居の低い外国人接遇」として事業を実施した。参加者アンケート結果は良好であり、外国人への接遇を考えるきっかけとなる機会を提供することができた。</li> <li>・「復興の現場見学会」については、三陸鉄道を利用した「震災学習列車」を中心に好評であり、来年度も継続することとする。より幅広い世代に復興への関心を持ってもらえるよう、見学先を工夫するとともに、防災意識の醸成にもつながるような内容にしていく。</li> </ul>
36	北いわて地域資源・健康推進事業	経営企画部	302,515	302,515	4 県・上記以外	2 食産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内の飲食店との調整を重ねた結果、「鶏からめし」の開発に至った。当メニューでは、二戸産鶏肉のほか、岩手県産米、地酒、二戸産にんにく、二戸産雑穀、九戸産はちみつ等を使用しており、地域固有の風土の中で育まれた豊富な食材がふんだんに活かされている。</li> <li>・今年度は開発した商品の報道機関向けの発表会を開催した。今後は、二戸ならではの「テロワール」を感じられるこのメニューを、県外からの観光客等に提供することで、より一層二戸地域の魅力の発信に取り組んでいく。</li> </ul>
37	北三陸・子どもアートタッチプロジェクト	経営企画部	658,469	658,469	4 県・上記以外	14 国体・障害者スポーツ大会	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から引き続き実施した、文化芸術の体験型イベントについては、児童等からの満足度が高く、好評を博した。</li> <li>・また、今年度から実施した、文化芸術団体の派遣については、対象者を放課後子ども教室に通う児童等にも拡充されたことにより、児童の文化芸術に触れる機会の増加につながった。</li> <li>・さらに、新たにスポーツ団体（グルージャ盛岡）の派遣により、児童に対して、体を動かす楽しさを感じる機会の提供を促進した。</li> <li>・今後も、市町村、各種文化・スポーツ団体等が連携・協力し、地域全体で将来に向け、文化芸術・スポーツの振興に取り組んでいく。</li> </ul>
38	復興『ありがとう』ホストタウン機運醸成事業	経営企画部	463,280	463,280	4 県・上記以外	14 国体・障害者スポーツ大会	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度、野田村が「復興『ありがとう』ホストタウン」に登録されたことを契機に、「台湾を理解する癒しの交流会」により、管内市町村の担当者が参加し、他の管内市町村にも台湾に対する理解やホストタウン登録の機運が醸成されたほか、「台湾ボクシングフェスティバル in 久慈」では江南義塾盛岡高校に加え、八戸工業大学第一高校、七戸高校のボクシング部を招聘したことにより、本県と青森県のスポーツによる交流が促進された。</li> <li>・今後も、久慈地域関係機関等の台湾やホストタウンに対する理解を促進するとともに、東京オリパラ・ホストタウンの機運醸成を図っていく。</li> </ul>
39	スポーツ栄養と食教育推進事業	経営企画部	235,974	235,974	4 県・上記以外	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生等を対象に、保健講話において「スポーツ栄養」と「食教育の推進」について講演し、高校生の意識啓発を図った。</li> <li>・また、高校生等と、日々、向き合っている体育教諭（部活顧問を含む）、家庭科教諭、養護教諭及び栄養士による食教育推進関係者情報交換会を実施し、問題の発見や解決に向けて実行可能な対策を考案し、より適切な指導（競技力向上、生活習慣予防）へとつなげた。</li> <li>・さらに、「健康度アップと競技力アップを目指す食体験セミナー」により、高校生等が調理体験を通して食生活の自己管理ができるようになるための知識と技術の習得を図った。</li> </ul>
40	八戸市との文化・スポーツ連携推進事業	経営企画部	381,265	381,265	4 県・上記以外	14 国体・障害者スポーツ大会	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年7月から「三圏域連携懇談会」（平成28年1月から「北緯40° ナニヤトヤラ連邦」に変更）に参加している久慈・二戸地域と八戸地域の行政組織の連携交流の枠組みを活かし、八戸市と文化・スポーツ両分野での連携事業の企画・立案に向けて協議を進めた。</li> <li>・また、八戸市での青森県産材フェア「森のめぐみ展 vol.8 in はっち&amp;マチニワ」において、管内の伝統芸能団体4団体が公演したほか、八戸市職員を文化芸術活動支援ネットワーク会議（久慈地域）へ招聘し、八戸市の取組「南郷アートプロジェクトとまちづくり」について講演いただいた。</li> <li>・今後も、引き続き事業を実施し、八戸市との文化・スポーツ両分野での更なる交流・連携に取り組んでいく。</li> </ul>

41	農林水産業みんなで課題解決促進事業	農政部 林務部 水産部	366,871	366,871	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久慈地域の農林水産業をけん引する担い手により抽出した共通課題について、各分野の連携による解決方策の取組の方向付けが進むとともに、農林水産業をけん引する担い手のネットワークの構築が図られた。</li> <li>・久慈地域の農林水産業を持続的に発展させるためには、今後も意欲と能力のある担い手が、経営資源と地域特性を生かした経営を展開していくことが必要であり、そのための取組を継続的に進めていく。</li> </ul>
42	久慈地方山ぶどう販売ステップアップ事業	久慈地方ヤマブドウ産業化研究会	627,046	535,823	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有利販売が可能となる販路開拓にすぐには結び付かなかったものの、東北イオン会见本市、首都圏の有機農産物取扱業者等に対し、商談につなげるために、次年度も継続して取り組む。</li> <li>・大消費地での事業者の出店内容は、爆発的に販売できた訳ではないものの、同じ場所に継続して出店することで認知度が上がる可能性が示唆されたことから、次年度も継続して取り組む。</li> </ul>
43	ぶどう産地確立スタートアップ事業	農政部	130,140	130,140	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月20日開催の大粒系ぶどう栽培管理講習会において、剪定及び定植方法についての集合指導を実施するとともに、3月下旬に実証農家4戸に対して土壌改良材及び定植について個別指導を実施した。</li> <li>・今後は、定植した苗木の栽培管理指導を実施し、生育状況の確認を随時行う。</li> </ul>
44	八戸圏域との連携によるインバウンド誘客促進事業	産業振興室	747,352	747,352	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久慈地域におけるインバウンドの誘客拡大を図るため、隣接する青森県が特集記事を掲載する旅行情報誌に久慈地域の観光情報を掲載し、同一のエリアとして認知度を向上させることができた。</li> <li>・また、バンコク市内で開催された旅行博において、直接、現地の方々へ久慈地域の魅力を伝えたほか、旅行会社の訪問を通じて、地域の観光資源や広域観光ルートの提案を行い、旅行商品造成の働きかけを行った。旅行会社の中には、次年度に久慈を行程に含んだ旅行商品の造成に着手したところもあり、引き続き様々な手段による情報発信を行い、インバウンドの誘客拡大に取り組んでいく。</li> </ul>
45	「南部美人」関連イベントとの連携事業	鶏王国北いわて推進協議会	300,000	300,000	3 県・負担金	2 食産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年2月15日(金)に盛岡グランドホテルにて開催された地元酒造会社の「新酒を味わう会」にて、二戸地域の食材と漆器のPRを行った。食材については、「二戸若手料理人の会」に依頼して、二戸地域の食材をふんだんに使用したメニュー2種を提供してもらった。両メニューとも300食程度用意したが、イベント開始直後に品切れとなり、多数の来場者に二戸地域の食材をPRすることができた。</li> <li>・また、会場内で浄法寺漆を使用した漆器での試飲体験も実施した。関心を抱いていた方には管内で購入可能な場所のパンフレットを配布した。</li> </ul>
46	久慈地域健康経営サポート事業	保健福祉環境部	151,900	151,900	4 県・上記以外	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員の満足度も高かったチャレンジマッチの参加は、健康づくりの働きかけが難しいとされていた年代へのアプローチ方法としては有効と感じた企業の担当者も多く、本事業の所期の目標は達成された。</li> <li>・また、参加企業の多くが岩手県脳卒中予防県民会議に加入したことや健康づくりの取組を継続する企業があったことは、働き盛り年代からの健康づくりの重要性や企業の役割についての理解が深まったものと考えられる。</li> <li>・セミナー参加企業からは、職場の健康づくりを推進するためには「経営者の強い賛同」「経営者から従業員への発信」が必要という意見もあったことから、今後は、経営者をターゲットとしたセミナーを企画する他、本事業のノウハウを生かしながら管内市町村と連携し、生涯を通じた健康づくりを推進していきたい。</li> </ul>
47	三陸鉄道リアス線開業PR横断幕作成事業費	経営企画部	159,570	159,570	1 県・委託		1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年3月23日の三陸鉄道リアス線開通をPRするため、横断幕を作成して各市町村で配布した。3月24日に各駅で開催された開通記念イベントで、乗客への歓迎対応の際に使用され、久慈-盛間の一貫運行開始によるリアス線開通の周知に寄与することができた。</li> <li>・通常運行開始後も、久慈地区合同庁舎1階県民ホールや、三陸鉄道久慈駅などに掲示されている。今後は、合同庁舎への来庁者や三陸鉄道の利用者に対して、三陸鉄道リアス線開業のPRを図るため活用していく。</li> </ul>
合 計			36,780,586	33,929,444				